

室内環境学会会員の皆様

秋冷の候

皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

12月開催の室内環境学会学術大会のご案内をいたします。
皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

締切もせまってまいりましたが、一部、締切りを延長しているものもございますので、是非、参加ご登録お申込みをお願いいたします。

「平成23年度室内環境学会学術大会」 in 静岡

テーマ: 健康長寿の基盤としての室内環境

大会長: 静岡県立大学 雨谷敬史

大会HP: <http://atmos.u-shizuoka-ken.ac.jp/siej/siej2011top.html>

※ご案内の下の方に、【特別インタビュー】大会長の雨谷先生へのインタビュー記事があります。

- 開催日: 12月8日(木)～9日(金)
- 場所: グランシップ JR東静岡駅前 <http://www.granship.or.jp/>
- プログラム: <http://atmos.u-shizuoka-ken.ac.jp/siej/sub2.html>
- 【延長しました】演題申込、原稿締切: 10月14日(金) 23:00まで
<http://atmos.u-shizuoka-ken.ac.jp/siej/sub3.html>
- 参加申込期日: 10月14日(金) 23:00まで
<https://www.pasreg.jp/reg/top/siej/participation>
※参加のみの場合、また懇親会ご参加については当日会場でも申込み可能ですが、できるだけ事前に申し込んでください。
- 振込期日: 10月21日(金)
 - ・演題申込費 ￥1,000/1題
 - ・参加費 正会員 ￥5,000 学生会員 ￥1,000
 - ・懇親会費 ￥5,000詳しくは <http://atmos.u-shizuoka-ken.ac.jp/siej/sub4.html>
- 機器展示参加申込期日: 10月21日(金)
 - ※ただし、広告については印刷の関係上10月上旬締切
 - ・展示のみ ￥40,000/1区画
 - ・予稿集広告のみ ￥20,000/1ページ(モノクロ)
 - ・展示/広告の両方 ￥50,000/1区画1ページ(モノクロ)詳しくは <http://atmos.u-shizuoka-ken.ac.jp/siej/sub5.html>
- 【延長しました】NPO・企業およびプレゼンテーションの募集 申込期限: 10月7日(金)
 - 開催日: 12月8日(木) 12:00～13:00
 - 場所: グランシップ6F交流ホール
 - PR時間: 20分間(予定) 質疑応答5分間詳しくは <http://atmos.u-shizuoka-ken.ac.jp/siej/sub5.html>
- 問合せ先: 学術大会実行委員会
E-mail: siej@u-shizuoka-ken.ac.jp

～H23年度室内環境学会学術大会 大会長 雨谷先生にお聞きしました～

室内環境学会平成23年度学術大会まであと約2ヶ月となりました。そこで今回、広報委員会では、室内環境学会平成23年度学術大会の大会長の雨谷先生に、今大会の見どころや雨谷先生ご自身について、インタビューをさせていただきました。雨谷先生のお人柄や大会の見どころなどを知ることで、学会参加の楽しみが増えればと願っております。

【雨谷先生について】

――雨谷先生のご専門は？

現在は、空気中の有害物質を主な対象とする環境分析などです。

――これまでどのような研究をやってこられましたか？

学生時代は、はじめ分析をしていたのですが、研究室を渡り歩く間に、有機合成・新しいものを作る仕事にトライしていました。ただ有機合成の研究室でなかったのになかなか成果は得られませんでした。

しかし、現在そのバックグラウンドが生きているかなと思っています。卒業して、この世界に入り、HPLCやGCを扱うようになりました。もともと分析に向いていると思っていたので、有害物質の分析の分野で仕事ができて良かったと思います。

――これからどのような研究をしていきたいですか？

世の中には次から次へと新しい物質が誕生しています。有機合成技術を使ってそれを追いかけてながら、その環境中での動態を分析する研究が必要かなと思います。

――ご趣味は？

時々、サッカーの審判にかり出されます。時間があれば東南アジアの温かい海で思い切り泳ぎたいです(あまり歳をとらないうちに、できれば出張で行きたい)。

【大会について】

――今年の大会テーマ「健康長寿の基盤としての室内環境」には、どのような思いが込められているのでしょうか？

「健康長寿」は、静岡県立大学の掲げているテーマで、本学を知って頂くキーワードであると共に、環境問題研究の究極の目的でもあると思います。「健康」には、肉体の健康だけでなく、メンタルの健康もあります。また、疾病を癒す場としての室内環境もあります。

このように室内環境研究が広がっていくことを期待しています。

―― 今年の演題はどのような傾向がありますでしょうか？

今年から、ポスター賞・発表賞の関係で、学部・修士レベル、博士・ポストドクレベルといったエントリーをお願いしましたが、博士・ポストドクレベルのエントリーが出足が悪いことが判りました。研究の中心となるべき博士課程、ポストドクレベルの人材が少ないのであれば、今後開拓していく必要があります。

―― シンポジウム「室内環境とエネルギー」はどのような内容でしょうか？

原発事故をきっかけに、エネルギーの生産と消費に関する関心が高まっています。室内環境問題(SBS)はもともと石油ショック後の省エネルギーの要請がきっかけであったと考えられており、そういった意味では原点に戻って室内環境をよりよくする提言を行っていきたいと考えています。

シンポジストとして、基調講演を 元室内環境学会長、東京大学特任教授の柳沢幸雄先生にお願いし、

テーマに関するご講演を地元東海地区の松本博先生(豊橋技術科学大学)と、東京都市大学の岩下剛先生にお願いしています。

エネルギー問題と関連して、是非室内環境を考えるきっかけとして頂きたいと思います。

―― 静岡のおすすめスポットを教えてください。

駅ビルの「魚河岸寿司」は、ネタが大きいので接待用に使います。

食べ物では、さくらエビや生シラス、観光地では登呂遺跡や久能山、伊豆の温泉といったところでしょうか。

懇親会は静岡市内に繰り出します。ご期待下さい&是非ご参加下さい。

【その他の質問】

―― 学会をさらに発展させるためにはどうすればよいとお考えですか？

若手(小生もいつまでも若手と言われます。これはおそらく大した実績がないからですが、そろそろ若手の称号を引き継ぎたいと思います)の皆様、学会を盛り上げていきましょう。

また、中国などの東アジア、東南アジア諸国の室内環境にもいろいろ問題があるようですので、連携を強めて(研究費をとって)いきたいと思っています。

学会を足場にして研究費獲得の促進も一つの手です。

―― 若手研究者へひとこといただけますでしょうか？

いろいろな学会がありますが、本学会は比較的にじんまりとしており、

このような学会に出入りすることは、大きな学会で発表するのとはまた違った効果が得られると思います。

終わった後の飲み会も行きましょう(誘って下さい)。

本来でしたら直接お伺いしてお話をお聞かせいただきたかったのですが、

今回はアンケート形式で質問にお答えいただきました。

雨谷先生お忙しいところお時間をいただきありがとうございました。

「健康長寿の基盤としての室内環境」に、期待に胸がふくらみます。
雨谷先生これからもよろしく願いいたします。

: 室内環境学会 広報委員

この「ニューズレター」は室内環境学会の会員に配信しております。

■ 入会申込み・配信停止・送信先の変更⇒<http://www.siej.org/postmail.html>

■ 学会ホームページ⇒ <http://www.siej.org>

【発行元】 室内環境学会 〒130-0026 東京都墨田区両国4-38-3 第8高島ビル6F

(株)アイテック内 室内環境学会 事務局

TEL 03-5600-4871, FAX 03-5625-4299

e-mail info@siej.org

※本メールの転送は堅く禁じます Copyright(c) 2008 Society of Indoor Environment,
Japan
